

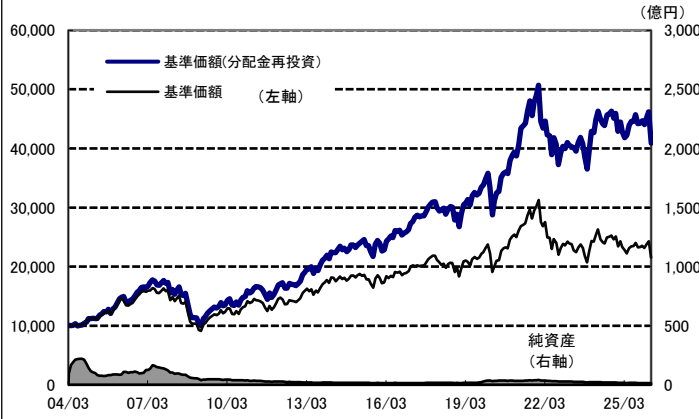


運用実績

2026年3月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 21,523円

※分配金控除後

純資産総額 13.4億円

- 信託設定日 2004年3月26日
- 信託期間 2029年4月10日まで
- 決算日 原則 4月10日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-11.5%
3ヵ月	-7.1%
6ヵ月	-7.5%
1年	-2.2%
3年	1.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2025年4月	800円
2024年4月	1,000円
2023年4月	900円
2022年4月	1,200円
2021年4月	1,200円

設定来 309.1%

設定来累計 12,550円

設定来=2004年3月26日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年3月31日 現在

国・地域別配分	
国・地域	純資産比
アメリカ	58.8%
イギリス	8.2%
カナダ	6.6%
ブラジル	5.3%
フランス	4.3%
その他の国・地域	15.2%
その他の資産	1.7%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

通貨別配分	
通貨	実質通貨比率
日本・円	97.6%
その他の通貨	2.4%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

業種別配分	
業種	純資産比
装置製造・エンジニアリング	60.0%
上下水道ビジネス	20.0%
環境マネジメント・サービス	18.3%
ミネラル・ウォーター	0.0%
その他の業種	0.0%
その他の資産	1.7%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当該ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年3月31日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	ブラジル	5.3%
FERGUSON ENTERPRISES INC	アメリカ	4.6%
PARKER HANNIFIN CORP	アメリカ	4.6%
VEOLIA ENVIRONNEMENT	フランス	4.3%
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ	3.6%
XYLEM INC	アメリカ	3.5%
PENTAIR PLC	アイルランド	3.4%
CORE & MAIN INC-CLASS A	アメリカ	3.3%
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	アメリカ	3.1%
CLEAN HARBORS INC	アメリカ	3.1%
合計		38.9%

組入銘柄数 : 47 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当該ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

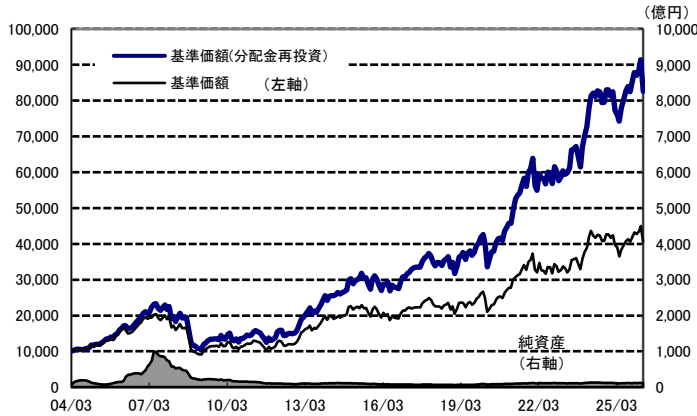


運用実績

2026年3月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 40,610円

※分配金控除後

純資産総額 107.1億円

- 信託設定日 2004年3月26日
- 信託期間 2029年4月10日まで
- 決算日 原則 4月10日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-9.6%
3ヵ月	-5.1%
6ヵ月	0.1%
1年	8.6%
3年	38.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2025年4月	1,600円
2024年4月	1,800円
2023年4月	1,300円
2022年4月	1,500円
2021年4月	1,200円

設定来 725.8%

設定来累計 16,660円

設定来=2004年3月26日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年3月31日 現在

国・地域別配分		通貨別配分		業種別配分	
国・地域	純資産比	通貨	実質通貨比率	業種	純資産比
アメリカ	58.7%	アメリカ・ドル	71.3%	装置製造・エンジニアリング	60.0%
イギリス	8.2%	イギリス・ポンド	8.2%	上下水道ビジネス	20.0%
カナダ	6.5%	ユーロ	7.9%	環境マネジメント・サービス	18.3%
ブラジル	5.3%	日本・円	4.3%	ミネラル・ウォーター	0.0%
フランス	4.3%	カナダ・ドル	3.6%	その他の業種	0.0%
その他の国・地域	15.2%	その他の通貨	4.6%	その他の資産	1.7%
その他の資産	1.7%			合計	100.0%
合計(※)	100.0%				

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年3月31日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	ブラジル	5.3%
FERGUSON ENTERPRISES INC	アメリカ	4.6%
PARKER HANNIFIN CORP	アメリカ	4.6%
VEOLIA ENVIRONNEMENT	フランス	4.3%
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ	3.6%
XYLEM INC	アメリカ	3.5%
PENTAIR PLC	アイルランド	3.4%
CORE & MAIN INC-CLASS A	アメリカ	3.3%
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	アメリカ	3.1%
CLEAN HARBORS INC	アメリカ	3.1%
合計		38.9%

組入銘柄数 : 47銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

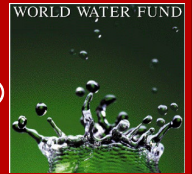
**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人資産運用業協会 /

一般社団法人第二種金融商品取引業協会



## 先月の投資環境

○世界の株式市場は、MSCI世界株式指数(現地通貨、配当込みベース)\*で、7.89%下落しました。

○米国株式市場は、上旬は中東情勢の緊迫化や、米国が新たなAI向け半導体輸出規制を検討していると伝えられたことなどが嫌気され下落しました。中旬から下旬にかけては、中東情勢の緊張状態が長期化するとの懸念が高まったことや、エネルギー価格の上昇などを受けたインフレへの懸念により利下げ観測が後退したことなどから下落し、月間でも下落しました。

○欧州株式市場は、上旬は中東情勢の悪化に伴う原油価格の急騰が経済に及ぼす影響が懸念され下落しました。中旬から下旬にかけて、不安定な中東情勢が長期化するとの懸念が高まったことに加えて、インフレ率高止まりのリスクが強く意識されたため、ECB(欧州中央銀行)による利上げ懸念が高まったことなどから下落し、月間でも下落しました。

○水関連企業(現地通貨ベース)の株価は、3つのセクターすべてが軟調となり、下落しました。装置製造・エンジニアリングセクターは、中東情勢の緊迫化を背景に世界の株式市場が大幅な下落となるなか、全体的に軟調となりました。一方、景気変動による業績への影響を相対的に受けにくい上下水道ビジネスセクターおよび環境マネジメント・サービスセクターは、相対的に底堅い値動きとなりました。

\*MSCI世界株式指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額騰落率(分配金再投資)は、Aコースは11.49%の下落、Bコースは9.64%の下落となりました。

○保有上位銘柄ではアドバンスト・ドレナージ・システムズ、ペンテアなどの株価下落がマイナスに影響しました。

○主な売買では、国内外に商業サービスを提供しているオーストラリアの会社の株式を新規買い付けしたほか、米国のキッチン・キャビネット・メーカーの株式などを買い増しました。一方で、米国の住宅・商業用温水機器と水質処理製品のメーカーの株式などを一部売却しました。

## 今後の運用方針 (2026年3月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○当ファンドは、ディフェンシブ(景気に左右されにくい)銘柄を中核に据え、幅広く投資機会を見出していくと同時に、製造業関連の経済指標の好転を捉えるべく、景気敏感な銘柄にもバランス良く投資していきます。引き続き、装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターの双方を中心に、バリュエーション(投資価値評価)や成長力などの観点から銘柄の選定を行ない、ポートフォリオを構築していく考えです。

○今後も、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ(価格変動性)の高まりは個別銘柄のミスプライス(誤った値付け)を引き起こし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用(景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと、景気に左右されにくく安定した業績を維持するセクターの保有)を行なっていきます。

○中長期的には、世界的な環境規制の強化、新興国の人口増加、温暖化の影響から気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題などが、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。このように水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズ(基礎的諸条件)は堅調であると考えます。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)\*ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

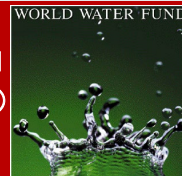
NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会



組入上位10銘柄の解説

2026年3月31日現在

銘柄	業種	組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由
1 CIA SANEAMENTO BASICO DE-AD サンパウロ州基礎衛生公社	上下水道ビジネス	浄化処理と配水事業会社。配水インフラ施設と浄化システムの設計・建設にも従事。ブラジルのサンパウロ州で事業展開。 2029年までに州内の農村や貧困地区へ上下水道サービスを普及させるため、サンパウロ州政府は2024年7月に同社の民営化を完了した。今後は、日々の暮らしや産業活動に不可欠な上下水道インフラの整備・更新がより一層進むことが期待される。日々の暮らしや産業活動に不可欠な上下水道サービスを提供する同社の収益は、州内のサービスエリア拡大などに伴って、長期的かつ安定的に成長すると考える。
2 FERGUSON ENTERPRISES INC ファーガソン・エンタープライゼズ	装置製造・エンジニアリング	持株会社。子会社を通じて、空調機器、配管、インフラなどの各製品を提供する。 スマートでエネルギー効率の高い給水や空調などにより、エネルギーや水の消費量を削減し、安全で健康的な環境を実現する配管や暖房製品などを提供する。エネルギー資源の安定的な維持・確保の問題のほか、地球温暖化などを背景にした干ばつによる水不足や経済発展に伴う水質の劣化などが問題となる場面が多くなっている。このような課題を解決する同社の技術に対しては、今後長期的に大きな需要があると考える。
3 PARKER HANNIFIN CORP パーカー・ハネフィン	装置製造・エンジニアリング	航空宇宙、工業をはじめとした幅広い業界向けのシステムや部品の設計、製造などを行なう。 同社の幅広い製品ポートフォリオには、油圧システム、空気圧システム、水や空気のろ過システム、流体およびガス処理技術などが含まれる。同社は、イノベーション、効率性、持続可能性などに重点を置いており、顧客の生産性向上と地球環境への負荷の削減を支援している。
4 VEOLIA ENVIRONNEMENT ヴェオリア・エンバイロメント	上下水道ビジネス	資源管理の最適化を行なうサービス会社。水、廃棄物、およびエネルギー管理ソリューションを設計、提供する。 上下水道やその他の水関連サービスを提供するほか、省エネルギー・サービス、廃棄物処理、リサイクルサービスも提供する。上下水道のインフラの老朽化が進み、水質に関する基準の高度化・複雑化が進み、民間資本による投資と水ネットワーク管理の能力が必要とされている。地方自治体の財政問題から上下水道の民営化が進められており、水関連サービスを提供する企業には、豊富な事業機会があると考える。
5 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC サーモフィッシャーサイエンティフィック	装置製造・エンジニアリング	科学関連製品メーカー。科学機器、消耗品、および化学品を製造する。 製薬会社の新薬開発、医療機関の臨床診断、環境・水質監視のための分析機器や研究のための機器を製造・販売する。先進国の地表水のほとんどは微量汚染物質で汚染されており、新興国でも水質汚濁が拡大している。こうした環境問題の解決のため、各国・地域で環境に関する規制が強化されていくなかで、水質の測定及び監視を可能にする同社のシステムは、地球環境維持のために重要な役割を果たすことが期待されており、今後の需要が見込まれる。
6 XYLEM INC ザイレム	装置製造・エンジニアリング	上下水道関連会社。集水、給水、利用から自然に戻るまでの循環全体に適用される上下水道用機器の開発および生産を行なう。 水処理システム、水漏れ検知システム、自治体向け水道関連部品、水質監視システムなど、重要な水関連のエンジニアリング製品とアプリケーションを幅広く設計、製造している。水資源は供給に制約のあるなかで、人口増加や経済成長によって需要は増加傾向にある。そのため製品やサービスを通じて水ソリューションを提供する企業には、長期的に成長機会があると考える。
7 PENTAIR PLC ペンテア	装置製造・エンジニアリング	グローバルな水道会社。住宅、商工業、インフラ、および農業向けにスマートで持続可能な水道ソリューションを幅広く提供する。 エネルギー効率の高い家庭用および業務用プール設備、圧力タンク、コントロールバルブ、活性炭や従来型のろ過製品などの水処理システムの設計、製造、販売を行なう。安全な水への持続可能なアクセスを提供するため、2007年以来、数多くの「安全な水」プログラムを実施しており、開発途上国を中心に清潔で安全な飲料水を提供している点を評価。
8 CORE & MAIN INC-CLASS A コア&メイン	装置製造・エンジニアリング	インフラストラクチャ系の製品やサービスを提供する企業。上下水道、排水、雨水および関連サービスを手掛ける。 地方自治体・民間の水道事業者・住宅および非住宅向けに、上下水道・排水・雨水・防火などの製品及び関連サービスの販売・提供を行なう。人口増加・経済成長が継続するなかで水資源への需要は高まっており、水質の管理・維持が重要な課題となっている。製品・サービスを通じて、水資源の有効活用にご貢献するソリューションを提供する同社は、長期的な成長が期待できる。
9 ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN アドバンスド・ドレナージ・システムズ	装置製造・エンジニアリング	排水管メーカー。排水構造物および資材を提供する。配管継手、地下雨水管理構造、地上排水構造、ろ過室、排水ます、格子、グリーストラップを製造。世界各地で製品を販売。 水管理の分野に強みを持つ米国の企業で、排水管のほか、雨水貯留設備や水処理設備、浄化槽システムなど幅広いソリューションを提供している。同社の提供するソリューションは、水の流入管理や水質保全に貢献する。排水・雨水インフラの老朽化が社会課題となるなか、気候変動に伴う豪雨・洪水リスクの高まりや水質規制の強化も相まって同社のソリューションに対する強い需要が見込まれており、中長期的な業績拡大が期待される。
10 CLEAN HARBORS INC クリーン・ハーバース	環境マネジメント・サービス	米国とプエルトリコでさまざまな環境浄化と産業廃棄物管理サービスを提供する。サービスには、固体・液体の有害・無害廃棄物の処理と廃棄、地表補修、地下水修復、廃棄物の包装、有害物分析試験、コンサルティングなどがある。 廃棄物処理およびその他の環境サービスを提供。有害廃棄物および非有害廃棄物の収集、輸送、処理、処分などを行なうほか、産業向けの洗浄やメンテナンス、廃油の収集、再精製など多様なサービスの提供を行なう。同社は、有害廃棄物の管理において北米最大手の事業者であり、都市化の進展と環境品質基準の厳格化により、廃棄物の専門的処理や管理は環境の維持や円滑な社会活動にとって重要な活動になっている。このような活動に従事する企業は、今後、長期にわたって比較的高い成長を遂げると考える。

(出所)「組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由」は、ピクテからの情報提供等に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

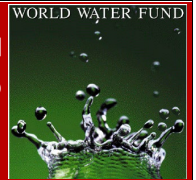
(注) 当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



ファンドは、ESG<sup>\*</sup>を投資対象選定の主要な要素としており、「ファンドの特色」にその詳細を記載しています。  
<sup>\*</sup> ESGとはEnvironment(環境)、Social(社会)及びCorporate Governance(企業統治)の総称です。

### ファンドの特色

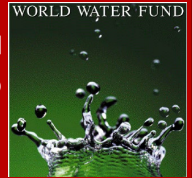
- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界の株式を実質的な主要投資対象<sup>\*</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。  
  - ファンドにおけるサステナブル投資■  
 ファンドでは、清潔で安全かつ持続可能な水の供給や大気汚染の抑制に貢献すると考えられる水関連企業や空気関連企業に投資を行いません。  
 また、同銘柄への投資比率は純資産総額の3分の2以上を維持することを基本とします。
- 銘柄選定にあたっては、投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。  
  - ステewardシップ方針■  
 ファンドでは、議決権行使とエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株主利益を尊重した経営を行なうよう求めます。  
 野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。  
 \*ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント方針の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、「外部委託ファンドのステewardシップ方針」にある「ワールド・ウォーター・ファンド」の「ステewardシップの方針はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。  
<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。  
※ただし、市況動向等により弾力的に変更を行なう場合があります。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、「ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド」、「ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ」および「ピクテ・ジャパン株式会社」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年4月10日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
 分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。  
\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。  
 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

### NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ESG投資に関するリスクなどがあります。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2029年4月10日まで(2004年3月26日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則4月10日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位 (ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。) ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.87%(税抜年1.70%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社  
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)  
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時  
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞ 野村アセットマネジメント株式会社  
[ファンドの運用の指図を行なう者]  
＜受託会社＞ みずほ信託銀行株式会社  
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもありません。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。